

単元名 Let's Talk 4 レストラン ―注文する―

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) レストランでの食事の注文の際に、注文をしたり質問に答えたりする表現を用いて、状況に合わせて食事の場面の対話をしたり、思い出などについて話す際に、過去に行った場所や体験したことなどについて、内容を聞き取ったりすることができる。また、過去形と過去進行形を用いた文の形・意味・用法を理解し、過去の出来事や状態について、過去にしたことやしていたことを伝えることができる。
- (2) レストランで食事をすることができるように、自分が注文したいものを伝えたり、質問に的確に答えたりすることができる。また、ラジオ番組でのDJの休暇中の体験やリスナーとのやり取りを聞いて、話の概要を聞き取ったり答えたりすることができる。
- (3) レストランで食事をするができるように、自分が注文したいものを伝えたり、質問に的確に答えたりしようとする。また、ラジオ番組でのDJの休暇中の体験やリスナーとのやり取りを聞いて、話の概要を聞き取ったり答えたりしようとする。

標準的な展開例

10250303_001

【準備等】 デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Let's Talk4 レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりする方法を学習する。</p> <p>★レストランで、注文をしたり質問に答えたりしよう。</p> <p>○STEP1を行う。</p> <p>○Today's Pointで基本表現を学習する。</p> <p>○STEP2でモデル文を用いて練習をする。</p> <p>○STEP3を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板に提示した本文のイラストのみを見ながらリスニングをし、場面をイメージさせる。 会話の内容をペアで話し合わせる。 文に対応したイラストを線で結ばせ、どのような会話をペアで話し合わせる。 電子黒板で映し出した学校の近くにあるレストランのメニュー表を用いて、基本表現の練習をする。 英語版のメニュー表があれば活用する。 巻末の資料を参考にして練習させる。 場面を想像しながら音読をさせ、意味を確認する。 ペアで実際に演技練習を繰り返す。 Tool Boxから最低1つ以上の表現を入れるように指示する。 練習が十分に行えたペアからタブレットで撮影をさせる。 最も上手くできたと思う表現作品を教師に提出させる。 教師は提出された動画を電子黒板に流し、まだ完成していないペアの参考となるようにする。 <p>【評】 レストランで注文するスキット作りを通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
<p>2 Let's Listen3 ラジオDJのトーク</p> <p>★ラジオ番組でのDJの休暇の体験やリスナーとのやり取りを聞き取ろう。</p> <p>○目的・場面・状況を確認する。</p> <p>○自分が夏休みや冬休みにしたことを話し合う。</p> <p>○STEP1を行う。</p> <p>○STEP2を行う。</p> <p>○STEP3を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 画像などの視覚的な情報を用いて英語で状況説明をする。 1分間、英語で行わせたい。 電子黒板に使用できる表現を載せておく。 1回目の後に、ペアで答えを英語で確認させる。 2回目で答えを確認させる。 リスナーとの対話を聞いて、内容の確認をさせる。 タブレット上で書かせ、書けた生徒から教師に提出させる。 教師は提出された意見を電子黒板に提示し、フィードバックを行う。 Sound Boxを参考に、単語と単語を繋げて読まれていることを確認させる。 <p>【評】 ラジオのDJとリスナーの対話を聞き取ったり伝えたりする取組を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>
<p>3 Grammar for Communication 過去形の形・意味・用法を学習する。</p> <p>★学習事項をまとめ、単元テストに取り組もう。</p> <p>○過去形の使い方・形を学習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書付属の問題や教師の自作した問題に取り組ませ、基本表現の定着を図る。 不規則動詞について確認する。

<ul style="list-style-type: none"> ○Let's Tryの(1)に取り組む。 ○単元テストに取り組む。 <p>4 Grammar for Communication 過去進行形の形・意味・用法を学習する。</p> <p>★学習事項をまとめ、単元テストに取り組もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○過去進行形の使い方・形を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ○Let's Tryの(2)に取り組む。 ○単元テストに取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ○Unitの目標を振り返り、できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。 	<p>【評】単元テストを通して、学習事項についての「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書付属の問題や教師の自作した問題に取り組ませ、基本表現の定着を図る。</p> <p>【評】単元テストを通して、学習事項についての「知識・技能」を評価する。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 備 考 】

授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。

各授業の帯活動として、p100を利用した会話練習を「スモールトーク」として定期的に行っていき、英語を言語として使用することに慣れさせていきたい。

不規則動詞については、中学校で習う不規則動詞を一覧にしたプリントを作成し、クイズ形式で使用することで、まとめて覚えさせたい。